

令和 7 年 2 月 1 9 日

令和 6 年度 北区立滝野川第五小学校自己評価報告書

滝野川第五小学校

校 長 高草木政浩

1 自己評価の結果と分析

A…よくあてはまる B…ややあてはまる C…あてはまらない D…まったくあてはまらない

(1) 児童の結果から

①Aが5割以上は全項目で、特に低高の平均7割以上と割合が大きい項目は以下の5つ。

1 「滝五小は明るく笑顔があふれる学校と思いますか」	7 5 % (8 7 ・ 6 2)
4 「先生は分からないことを最後まで丁寧に教えてくださいませんか」	7 1 % (8 9 ・ 5 3)
1 1 「あなたは安全に生活をしていますか」	7 5 % (8 4 ・ 6 5)
1 2 「あなたはすすんで体を動かすことができますか」	7 0 % (8 4 ・ 5 6)
1 5 「運動会や展覧会を楽しくできましたか」	8 7 % (9 5 ・ 7 9)

→昨年度は2項目から5項目に増加したことから、児童の積極的な肯定的評価が増加したと言える。

特に低学年の評価が非常に多かった。

※低学年でAが7割以上は上記の他に11項目(昨年度は5項目)

() は高学年

1 「滝五小は明るく笑顔あふれる学校と思いますか」	8 7 % (6 2)
3 「あなたは授業が楽しくないようがよく分かりますか」	7 1 % (4 0)
4 「先生は分からないことを最後まで丁寧に教えてくださいませんか」	7 2 % (5 3)
7 「あなたは自分からすすんであいさつをしていますか」	7 6 % (5 0)
9 「あなたは自分を大切にするとともに友達の気持ちも考えて行動していますか」	7 1 % (5 3)
1 0 「先生はいろいろなことを解決してくれますか」	8 4 % (4 8)
1 1 「あなたは安全に生活していますか」	8 4 % (6 5)
1 2 「あなたはすすんで体を動かすことができますか」	8 4 % (5 6)
1 3 「氣息正しい生活を心がけ、じょうぶな体をつくっていますか」	7 8 % (5 2)
1 4 「滝五小はまとまりのある学校だと思いますか」	8 0 % (5 5)
1 5 「あなたは運動会や展覧会を楽しくできましたか」	9 5 % (7 9)

②AとBを合計し90%以上の項目は15項目中5項目で、昨年度の11項目に比べ減少した。

最も少ないのは、2「学校行くのが楽しみですか」6「北コンをすすんで使っている」で84%であった。 ※低学年は15項目全てが90%以上であった。

③CとDを合計し15%を超えた項目は、低学年はなし。高学年では以下の6項目であった。

2 「あなたは学校へ行くのが楽しみですか」	1 6 %
5 「あなたはさまざまな物に見たりふれたりして積極的に学習に取り組んでいますか」	1 5 %
6 「あなたは北コンをすすんで使い学習に取り組んでいますか」	1 6 %
7 「あなたは自分からすすんであいさつしていますか」	1 5 %
1 2 「あなたはすすんで体を動かすことができますか」	1 5 %
1 4 「滝五小はまとまりのある学校だと思いますか」	1 5 %

→否定的な回答は全体的に減少している。低学年で1～10人程度、高学年で5～20人程度の児童が否定的な回答をしている。

(2) 保護者の結果から

①Aの評価が5割を超えている項目は、17項目中1項目であった。

2「お子さんは学校生活を楽しんでいる」 50.5%

→昨年度の3項目から1項目にA評価は減少。

②AとBを合計し90%以上の項目は、13項目であった。昨年度は9項目。

①「明るく、笑顔あふれる学校教育が営まれている」 97%

2「お子さんは学校に楽しく通っている」 91%

④「教員は児童理解に努め、個に応じた指導を行っている」 91%

5「様々な～体験活動を取り入れるなど工夫した授業が行われている」 94%

⑧「お子さんは学校のきまりや約束を守り、落ち着いて生活している」 90%

⑨「お子さんは自分を大切に～友達の気持ちも考えて行動している」 90%

11「学校生活や登下校時の児童の安全が確保されている」 90%

12「児童の体力を向上させる取り組みが行われている。」 90%

13「児童の健康意識を高める保健指導や食育が行われている」 90%

14「教職員が一体となって教育活動に取り組んでいる」 92%

⑮「行事や学校公開を積極的に行っている」 97%

16「教育方針や教育活動について分かりやすく伝えている」 90%

18「学校公開や保護者会、学校行事にすすんで参加している」 91%

→1. 4. 8. 9. 15の5項目は低学年、高学年、保護者、教員全てが90%以上の肯定的評価となっている。

③CとDの合計が最も多かった項目は、昨年度同様以下の2項目で共に25%である。昨年度の34%からは減少している。

6「北コンを有効活用し、積極的に学習に取り入れている」 25%

7「お子さんは自分から気持ちのよいあいさつをしている」 25%

(3) 教員の結果から

①AとBを合計し、17項目全てが90%以上。

②CとDの割合が大きかった項目は、6「ICT研修に取り組み、北コンを有効活用した授業を行っている」と「保護者・地域の理解を得るために、学校だより、HPなど積極的に情報発信に努めている」が共に5%であった。

→児童の実態、保護者・地域の方々の願い、ご意見をしっかりと受け止め、常に向上意欲、課題意識をもって、家庭や地域からの協力を得ながら、さらによりよい教育活動を行っていけるよう努めていく。

2 児童・保護者・教員の全体考察

保護者の回答率は6割程度であったが、児童、保護者、教員とも全体的に肯定的評価が増加した結果となった。今後はさらに教育活動を工夫改善し、全ての児童にとって「楽しい学校生活」「わかる授業」を実現できるように努めていく。また、礼儀・マナー・あいさつの励行・規範意識等の指導を継続し、保護者や地域の方が安心できる学校づくりを行う。アンケート回答率は100%に近づけていく。